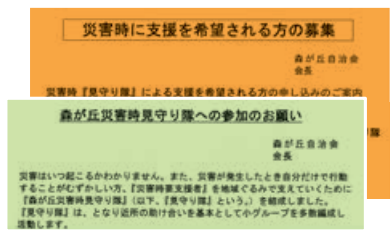


# 担い手の確保・要援護者の把握



## ● 自治会内に広く呼びかけて、支援者と要援護者を募集 森が丘自治会

支援者及び要援護者を全世帯に呼びかけて募集するにあたり、いくつかの点に配慮しました。まず、「支援する・される」という語感に配慮し、前者を「グリーンの方」、後者を「オレンジの方」という呼称にしました。また、支援者の役割を明確にすることなどにより（P.3参照）、多くの方に支援者として手を挙げていただき、「森が丘災害時見守り隊」をスタートすることができました。



## ● アンケートにより、要援護者を把握 杉田梅林町内会

緊急時に支援が必要な人を把握するため、全世帯対象に「緊急時支援アンケート」を実施しました。このアンケートでは、支援が必要な方として、高齢者や身体が不自由な方などに加えて、**遠方に通勤している方のお子様（小中学生）も対象**にしています。そのようなお子様への支援の希望があった場合、発災時には自宅への安否確認、町内会館での保護や防災拠点への同行等を行います。

緊急時支援アンケートにて町内会が提示した支援項目の例	
● 身体が不自由なお子様への支援	
内容	緊急時に自宅に訪問し、保護者が不在の場合、事前に保護者との協議により決定した内容で支援実施
● 遠距離通勤者のお子様（小中学生）への支援	
内容	①緊急時に自宅に訪問し、保護者が不在の場合、必要に応じて町内会館で保護または防災拠点へ同行 ②保護者の依頼（電話・メール等）を受け、支援内容を協議したうえで対応
● 親族への連絡代行	
内容	緊急時に依頼者から親族の連絡先について情報提供を受け、町内会が代行して連絡
内容（選択）	親族の連絡先を事前に一覧表に登録しておき、緊急時に町内会が代行して連絡

## ● 区と協定を結び、要援護者を把握 ソフトタウン根岸1・2・3番館自治会

従前から75歳以上ひとり暮らしの方の名簿を独自に作成しており、見守り活動を実施していました。それに加えて、自治会では把握していない要援護者等についても問題意識を持っていたため、**同意方式（裏表紙参照）にて要援護者名簿の提供を受けることを自治会で決定**しました。

独自の名簿に区役所から情報提供を受けた方を加え、月1回の民生委員・児童委員による見守り訪問や地域のイベントへの招待などに活用しています。

梅さんコラム  
1

### 担い手確保のひと工夫

地域では、課題となっている「担い手の確保」について、こんな工夫をしているよ。

- 自治会・町内会の回覧などで広く支援者を募集
- 地域のお祭りなどのイベントで積極的に声かけをして担い手をスカウト
- 子供会や自治会の役員を退任された方などが、引き続き地域の取組に参加しやすいように、自治会・町内会内にOB組織を結成
- 各種委嘱委員への就任の打診時を利用して、地域でのボランティア活動についての意向を確認しておき、実際の活動の際に声かけを実施